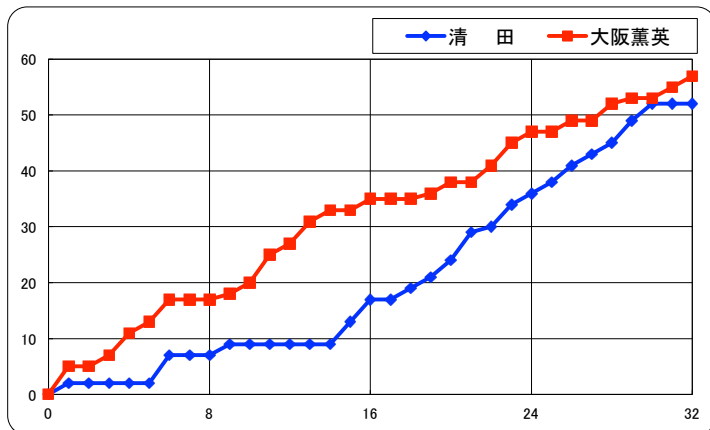




THE 44th ALL ALL JAPAN
Jr HIGH SCHOOL
BASKETBALL CHAMPIONSHIP

【得点経過】



【BOXスコア】

Team A		清 田						
番号	選 手 名 前	出場	得点	3 P	2 P	F T	反則	
4	宗形 真李	×	7	0	2	3	3	
5	土岐 葵	×	12	2	3	0	2	
6	伊藤 天良	×	10	2	2	0	2	
7	大久保 亜美	×	2	0	1	0	4	
8	飯田 芽衣	DNP	0	0	0	0	0	
9	渡辺 瑠華	DNP	0	0	0	0	0	
10	下総 怜菜	DNP	0	0	0	0	0	
11	小林 未奈	DNP	0	0	0	0	0	
12	村上 さくら	DNP	0	0	0	0	0	
13	勝浦 日那	DNP	0	0	0	0	0	
14	海老沼 汐璃	DNP	0	0	0	0	0	
15	藤原 遥香	×	21	0	10	1	4	
16	山 愛良	DNP	0	0	0	0	0	
17	松橋 京香	/	0	0	0	0	0	
18	小野寺 佑奈	/	0	0	0	0	0	
監督	高橋 和也						0	
コーチ	津梅 直哉						0	
合 計			52	4	18	4	15	

Team B		大阪薫英						
番号	選 手 名 前	出場	得点	3 P	2 P	F T	反則	
4	高島 陽和	×	10	0	4	2	1	
5	今村 弥菜美	DNP	0	0	0	0	0	
6	秋末 ふたば	×	10	1	2	3	1	
7	上野 裕理	DNP	0	0	0	0	0	
8	佐野 暖佳	DNP	0	0	0	0	0	
9	東條 玲奈	DNP	0	0	0	0	0	
10	大原 美由	DNP	0	0	0	0	0	
11	田中 友萌	×	0	0	0	0	1	
12	中道 朋香	×	23	2	8	1	1	
13	清水 咲来	/	3	1	0	0	0	
14	磯野 若菜	DNP	0	0	0	0	0	
15	福島 梓	×	10	0	4	2	1	
16	桑原 友花	DNP	0	0	0	0	0	
17								
18								
監督	市川 藤乃						0	
コーチ	川嶋 裕彰						0	
合 計			56	4	18	8	5	

【戦 評】

決勝トーナメント2回戦は北海道ブロック代表清田と近畿ブロック代表大阪薫英の一戦。両チーム互いにオールコートマンツーマンDefで始まる。清田はインサイド#15を中心にOffを組み立てる。対する大阪薫英は#6、#11、#12の3Pを中心に攻撃をしかけ、#15のリバウンドを中心に得点を重ねていく。残り3分、清田はタイムアウト後、#5の3Pをきっかけにオールコートの2-2-1ゾーンプレスでしかけるがなかなかつながらず清田7-17大阪薫英で、大阪薫英がリードで1Q終了。2Q、大阪薫英はハイポストからパスアウトし、ドライブや3Pを中心にOffを組み立て、#4、#15が次々とドライブし追加点をあげる。清田も#15の速攻や#7のリバウンドなどで得点するが、なかなか追いつくことができず、清田17-35大阪薫英で、大阪薫英が大きく点差をつけて2Qが終了した。

3Qの立ち上がり、清田はリバウンドやパスカットで奪ったボールを#15の連続速攻につなげ、勢いを増す。少しずつDefリバウンドを支配し始めた清田が追加点をあげていく。しかし大阪薫英も#15のポストプレイや#6のミドルシュートで対応し、3Q終了時には、清田36-大阪薫英47で、清田が点差を縮める展開となった。4Q、清田のマンツーマンDefが激しくなり、ボールを次々と奪い、#6の3Pや#15の速攻、ポストプレイで得点し、残り2分15秒、#6の3Pが決まり、1点差まで詰め寄った。しかし大阪薫英#4、#6のドライブに清田がたまたまファールをし、フリースローで追加点をあげられた。清田のセンター#15がリバウンド、速攻、ポストプレイと活躍したがあと一歩及ばず、清田52-57大阪薫英で、大阪薫英が勝利し、準決勝へと駒を進めた。

【戦評記入者】

守屋 智彦